

ていた。

まだ充分とはいえないが、見合い、交際、或は恋愛が結婚に直結するようになったのは、特に終戦後などに強くなりあがった風潮のようにもみえる。

2、婚礼 結婚の予約を定め酒と云って、仲人が双家を行き来する風は昔より変わっていない。結婚とか、納め



婚礼の平列並びのむすびのさかづきごと  
(昭和42年3月 石原にて)



婚礼のながもちかつぎ—ながもち歌をうたう (鈴木真言撮影)

着物などは近年お金で済すのを多く見受ける。昔は必ず着物を持参して、これを娘の家では、近隣を呼びよせて、衣裳見などまでしていた。これもまだ全然なくなっているかどうかはわからない。

結婚当日、婿の方より嫁迎えに行くのを迎いげんざんという。そして嫁入りの行列をつくってくりこむわけであるが、戦後何年かたつと、これが